

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

京丹波町

事業名

「食の町京丹波（フードバレー）」ならではの 学校給食創造事業

事業の経過・背景・課題

本町には、里山の田畑で育まれる豊かな土地や歴史・環境によって培われてきた「食」の文化があり、それぞれの地域に残る食文化に触れることにより、児童生徒に食育を推進することが重要である。

このため、学校給食において、地産地消、旬産旬消を推進し、地元食材を積極的に取り入れ、安心・安全な献立の提供を行い京丹波町ならではの給食を展開することにより、食育の推進を図る。

取組内容

交付実績額： 1,619 千円

地元食材を積極的に取り入れ、京丹波町ならではの給食を展開することにより食育を推進する。

- 地元産食材を使用「味夢君ランチ」の実施
- 友好町福島県双葉町、十文字学園女子大学（埼玉県）との「食」を通しての交流



味夢くんランチ
地元食材を使った夏野菜カレー・さっぱりサラダ・須知高校アイス（須知高校食品学科食品加工コースの生徒が製造）



十文字学園考案給食
京丹波町の食材を使って、大学健康栄養学科の学生が考えた給食

- 教科学習＝学びにつながる給食

子どもたちにとって、日々自然と関わる身近なテーマであり、「食」に関する体験や知識を通して、地域、歴史、食材、人々のつながりなどの多様なアプローチから、学習の機会となる給食の提供を実施する。

【主な取り組み内容】

- ・福島県双葉町、埼玉県十文字学園との交流、研修
- ・地元産食材を使った味夢くんランチの提供
- ・十文字学園考案の京丹波町食材給食を実施
- ・栗ご飯、黒豆枝豆を利用した地元特産品給食の実施
- ・双葉町郷土料理給食の実施
- ・地元企業イシイ食品の商品を活用した給食の実施

事業の成果・今後の展望等

地元産食材を100%使用した「味夢君ランチ」のメニュー開発と給食の実施することにより、豊かな食材の宝庫である「食のまち」を実感し、地域の食文化を学ぶ機会となった。また、友好町福島県双葉町、十文字学園女子大学との連携によるメニュー開発や、給食の提供により「食」を通じた学びの推進を図ることができた。

今後は、さらに地元産食材の活用を推進し、「味夢くんランチ」のメニュー開発を進めるとともに、地元産オーガニック食材の活用を促進し、より安心安全な学校給食の提供を推進する。また、地元企業の食材を使った給食を実施するとともに、高校・大学等との連携による食育を推進していく。

問い合わせ先

京丹波町教育委員会学校教育課（0771-84-0028）